

第一章 若年者支援の基礎知識

1. なぜ「若年者支援」が必要なのか? 10
 日本型雇用慣行の崩壊／ニートという概念とその状態／七・五・三離職と長期の無業状態／高校中退者の2割が無業／ニート状態にある若者の複合的問題
 〈資料1〉小・中学校における不登校の現状
 〈資料2〉ひきこもり（社会的ひきこもり）の現状

2. 「若年者支援」の拡充と課題 16
 若年者支援における民間支援機関の役割／民間支援機関の自立支援手法／「子ども・若者育成支援推進法」成立へ／公的機関「地域若者サポートステーション」の役割
 〈資料1〉「子ども・若者育成支援推進法」について

第二章 家庭訪問支援の概略

1. 「若年者支援」のなかのアウトリーチ 28
 支援の流れとそれぞれの課題／若年者支援におけるアウトリーチの役割／アウトリーチの種類と家庭訪問支援

2. 家庭訪問支援の対象となる若者の状況 32
 家庭訪問支援の対象となる若者の状況／困難が予想される状況と家族支援の重要性／思春期・青年期の特性と孤立状況の特性／ひきこもり状態における二次的症狀／家庭訪問支援の対象となる家庭の状況

3. 家庭訪問支援の利点と限界 36
 一歩踏み込んだ介入手段としての家庭訪問支援／侵襲性が高く、リスクも高い家庭訪問支援／家庭訪問支援の法規的根拠
 〈資料1〉若年者支援における個人情報保護

4. 家庭訪問支援における基本的姿勢 42
 家庭訪問支援の原則と倫理／家庭訪問支援の基本方針と展開／家庭訪問支援士に求められる適性／客観的に冷静に対処すること／一人で抱え込まない体制を作る

5. 家庭訪問支援の流れ 46
 家庭訪問支援のはじまりから出口まで

6. 家庭訪問支援の専門性と支援範囲 48
 家庭訪問支援の困難度／当講座修了者の家庭訪問支援範囲を考える

別冊『家庭訪問支援・活動実践例』・DVDの関連箇所 53

第三章 家庭訪問支援の実際

1. 事前面談の方法と聞き取り項目 60
 事前面談の目的／事前面談における親・家族への働きかけ／事前面談における聞き取り項目／事前面談における留意点／聞き取りにおける注意すべき事項／事前面談後のカンファレンス（事例検討会）

2. 事前に用意すべき家庭訪問計画 72
 初回の家庭訪問を考える／親・家族から本人へ家庭訪問予定告知

3. 初回家庭訪問の進め方（初期家庭訪問の心構え） 74
 初回家庭訪問の進め方／本人に会えなかった場合の対処法／継続的家庭訪問の方向性と頻度

4. 継続期家庭訪問の進め方（継続期家庭訪問の心構え） 78
 継続期家庭訪問の進め方／継続期の親・家族への対応

5. 誘導期家庭訪問の進め方（誘導期家庭訪問の心構え） 82
 誘導期家庭訪問の進め方／誘導する支援機関の見定め

6. 家庭訪問支援の終結と関係性の再調整 84
 家庭訪問支援の終結

別冊『家庭訪問支援・活動実践例』・DVDの関連箇所 86

若者自立支援関連機関 22
 子ども・若者育成支援推進法 24
 孤立状態と関係の深い精神的疾患・発達障害 71
 お役立ちサイト 93
 地域若者サポートステーション一覧 94

事例研究①●支援者自身が巻き込まれたケース 41
 事例研究②●孤立が長期化していく典型的なケース 56
 事例研究③●親子関係がこじれている一般的なケース 57
 事例研究④●発達障害を疑ったケース 77
 事例研究⑤●本人の硬直した思考をほぐした例 81
 事例研究⑥●母親が過干渉になっているケース 90
 事例研究⑦●両親間のコンセンサスが取れていないケース 91
 事例研究⑧●家族のなかで支援方針が異なるケース 92